

# 金属材料研究所 講演会

平成23年

11月24日(木)・25日(金)

金属材料研究所2号館講堂・会議室

11月24日 木

司会 宇田 聡 教授

>> 13:20~13:30 所長挨拶

所長 新家 光雄 教授

座長 新家 光雄 教授

>> 13:30~14:30 特別講演 1

「量子ビームを用いた  
構造材料研究の新展開」



茨城大学大学院理工学研究科・応用粒子線科学専攻 友田 陽 教授

鉄鋼材料など構造材料の生産・研究開発において、日本は世界をリードしてきたが、近年は世界的生産量の増加とともに各国の追い上げが著しい。これまでの日本の優位性を保つには研究開発の飛躍的発展が望まれている。マイクロ組織精密制御によるミラクルスチールの実現が切望されているが、それに繋がる新しい実験手法として、各種量子ビームを用いた手法が有効である。本講演では最近の研究例を紹介。

プロフィール

1947年生まれ。京都大学工学部、工学研究科を経て、72年より茨城大学。78年京都大学工学博士の学位取得。82年カリフォルニア大学ローレンスバークレイ研究所客員研究員、97年ワシントン大学客員研究員、1991年に同大学教授となる。2010年茨城大学工学部長、大学院理工学研究科長に就任。現、日本鉄鋼協会会長。一貫して鉄鋼材料研究を推進。

座長 宇田 聡 教授

>> 14:40~15:40 特別講演 2

「文化・芸術からみた科学技術  
ともにARTを作り続けるために」



有限会社 劇団かかし座 代表取締役 後藤 圭

「影をもって、なにかの形や行為をイメージさせる」のが影絵。約200年ほど前の影絵資料にすでに「古くから親しまれてきた。」と書かれているその影絵表現の発生を考察し、歴史を考える。人の成すことの源流に近い存在である「影絵」表現から、私たちが成さねばならない未来の「ART」を考える。

プロフィール

1955年生まれ。82年に有限会社劇団かかし座代表取締役に就任。TV放送用影絵映画、影絵劇など影絵作品を数多く手がける。92年に影絵映画「キジの儀式」で日本視聴覚教育研究協会・優秀映像教材選奨入賞など受賞歴多数。2008年より玉川大学芸術学部にて講師を勤める。著書に「かげえをつくる」(大月書店)、「手であそぶおもしろ影絵ブック」(PHP研究所)他。

座長 林 好一 准教授

>> 15:50~17:20 ポスターセッション

>> ポスター賞表彰式 ポスター賞表彰式は11月25日(金)の共融会復興祭にて執り行います。

11月25日 金

一般講演

>> 10:00~10:40 「ガーネット系シンチレータの現状と今後の展開」

座長 折茂 慎一 教授

吉川 彰 教授

>> 10:40~11:20 「X線回折現象を利用した金属マイクロ組織解析」

佐藤 成男 准教授

座長 古原 忠 教授

>> 11:30~12:10 「金属ガラスの不均質性が緩和や機械的性質に及ぼす影響」

加藤 秀実 准教授

>> 13:30~14:10 「金属ガラスの実用化技術の現状と展望」

早乙女康典 教授

座長 山田 和芳 教授

>> 14:10~14:50 「やわらかい有機物質の低温電子物性研究」

佐々木孝彦 教授

>> 15:00~15:40 「高靱性再結晶タンゲステン合金の開発と高効率引張試験治具の開発」

栗下 裕明 准教授

>> 15:40~15:45 閉会の挨拶

宇田 聡 教授



お問い合わせ先：金属材料研究所総務課庶務係

TEL 022-215-2181 URL <http://www.imr.tohoku.ac.jp>

E-MAIL [imr-som@imr.tohoku.ac.jp](mailto:imr-som@imr.tohoku.ac.jp)



TOHOKU UNIVERSITY